

1 本園の教育目標

しなやかな心と体の子供
 ・生き生きと遊ぶ子供 ・力強く生きていく子供 ・自分も友達も大切にする子供

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

めざす子供像 「やってみよう」と意欲的に遊ぶ子供
 努力目標 おもしろそう やってみよう たのしいな
 ～子供達が自分の思いを表現し、主体的に活動できるような環境や援助について考える～
 ○担任保育教諭の園内研修を行う。 ○教員の資質向上に努める。
 ○特別支援コーディネーターを中心に支援方法を考え、幼児理解に努める。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
努力目標の達成を目指し、教育保育を進めていく。	A	教育目標や努力目標を意識した教育保育を進める中で、子供達が主体的に活動できるように適切な援助を行うことができた。また、園内研修を通して指導助言を教育保育に生かすことができた。
研修や研究保育を通して教員の資質向上に努め、めざす子供像を達成する。	B	吹田市教育・保育研究会の部会や色々な研修に全職員が進んで参加し、多くを学び、自身の教育保育活動に生かし、資質向上を図ることができた。
幼児理解に努め一人ひとりの特性を知り、支援方法を考える。	B	一人ひとりの特性や目標について話し合い、個々に応じた支援方法や手立てを見つけて共通理解をすることができた。また、子供達の姿を伝え合う時間を多く設け、幼児理解に努めた。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	・園内研修を実施することで、研究協議や指導助言を受けて自身の教育保育技術の向上や幼児理解等の自己研鑽に努めた。 ・日々の教育保育の振り返りを大切にし、その中で子供の様子について話をする機会をもち、個々に応じた具体的な手立てを考えることができた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育課程の編成	幼稚園教育要領や教育目標、努力目標を常に意識し、子供が興味、関心をもって主体的に活動できるよう教育保育に取り組む。
地域との交流 子育て支援の充実	隣接する小学校や杉の子学園、保育園、中学校等との交流を考え、連携を図る。また、地域の未就園児教室の充実を図り、園庭開放や園行事への参加の呼びかけ等を行う。
特別支援教育の充実	一人ひとりの特性を理解し、個々に合った支援の方法を職員で考え丁寧な対応を心掛け、保護者と話す機会を多くもち、連携を丁寧に行うようにする。

◎3.4. の評価結果の表示方法

A十分達成されている B達成されている C取り組まれているが成果は十分でない D取組が不十分である